



2018年12月期第1四半期 決算説明資料

2018年5月
株式会社セレス（東証第一部：3696）



1. ビジョンとビジネスモデル
2. 2018年12月期第1四半期 決算概要
3. 事業概況と成長戦略



1. ビジョンとビジネスモデル

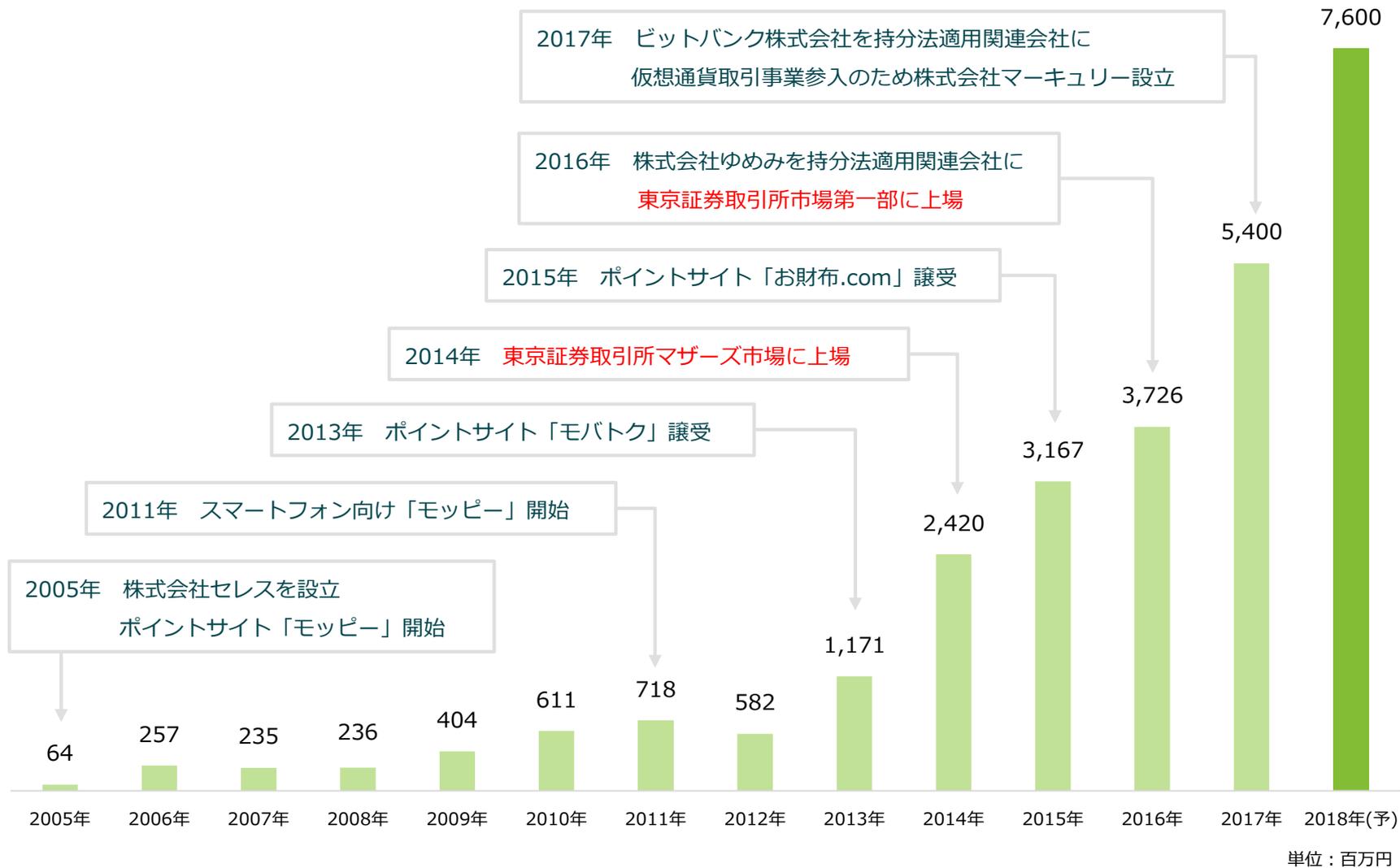
インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。



CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穰の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

セレス成長の軌跡



モバイルサービス事業

成功報酬型スマートフォンメディアとして、「モッピー」・「モバトク」・「お財布.com」のポイントメディアの運営を行うとともに、アルバイト求人サイト「モッピーバイト」やコミックサイト「コミプラ」、スマホゲーム比較サイトの「LookApp」等複数のコンテンツメディアを展開しています。

ポイントメディア



コンテンツメディア



フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービスとして仮想通貨関連・スマートフォン決済・投資育成事業を展開しております。仮想通貨関連では、子会社マーキュリーにて仮想通貨取引所開設に向けた準備を行うと共に、仮想通貨マイニングを開始しております。スマートフォン決済では、ポイント決済が可能な「POINT WALLET VISA PREPAID」を発行しております。

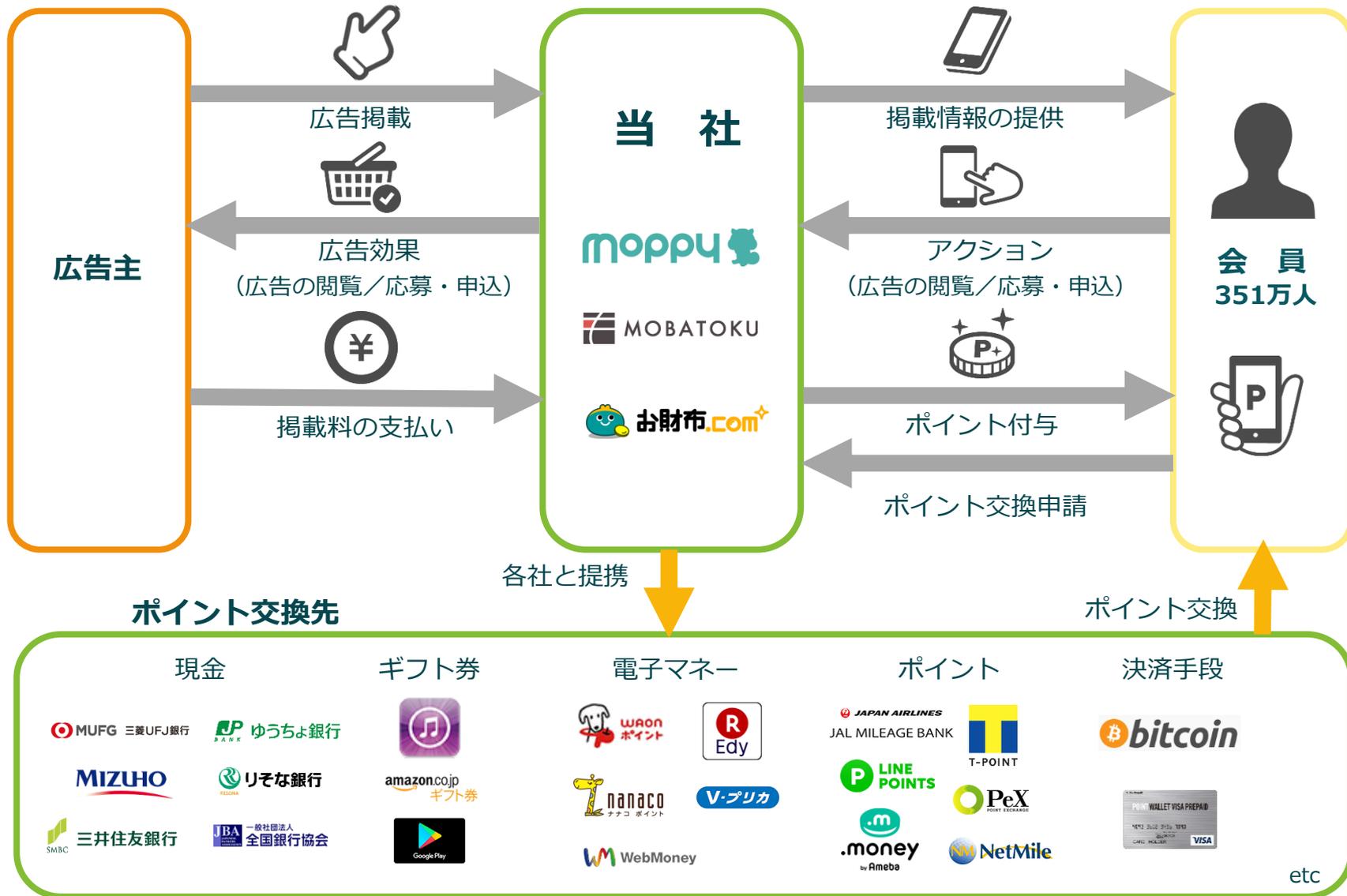
仮想通貨関連



スマートフォン決済

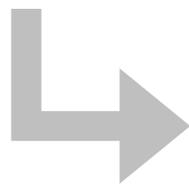


ポイントメディアのビジネスモデル



トークン（Token）とは？

しるしや代用貨幣や商品引換券などと訳される



ポイント



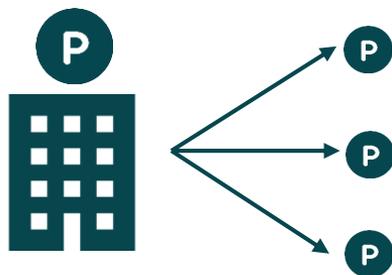
電子マネー



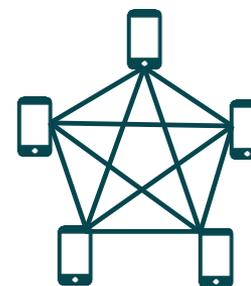
仮想通貨

※仮想通貨業界では仮想通貨=トークンといった形でつかわれるが、ここでは広義に解釈。

グローバルで進む「非現金決済による経済活動」に継続して注力



中央集権的なポイントビジネス



分散型のブロックチェーンビジネス



2. 2018年12月期第1 四半期 決算概要

2018年12月期第1四半期 決算概要

売上高 **1,712百万円** (前年同期比 **60.9% 増**)

営業利益 **36百万円** (前年同期比 **78.8% 減**)

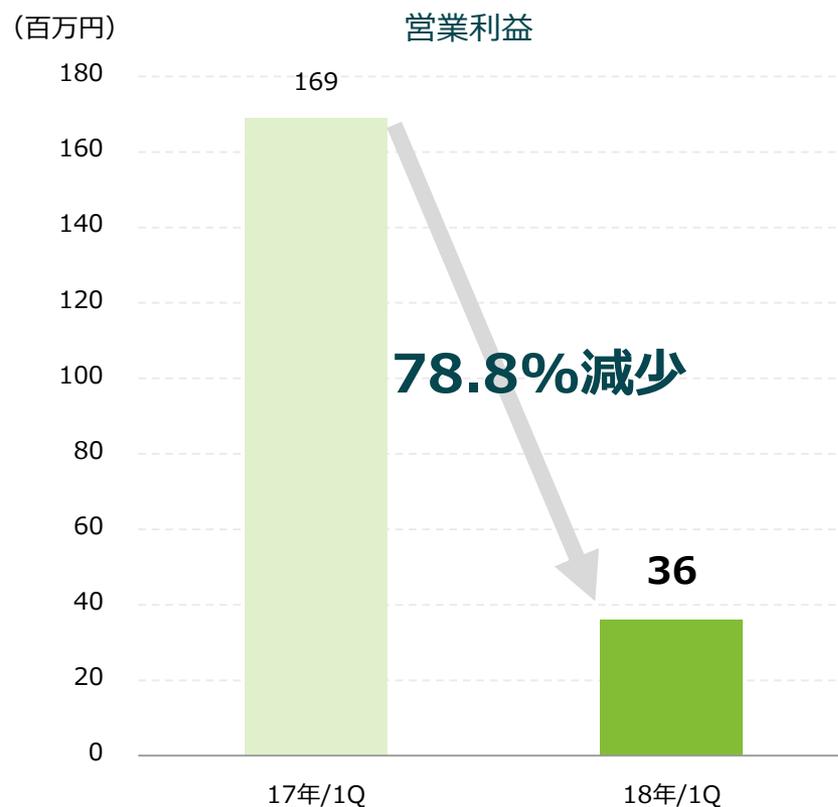
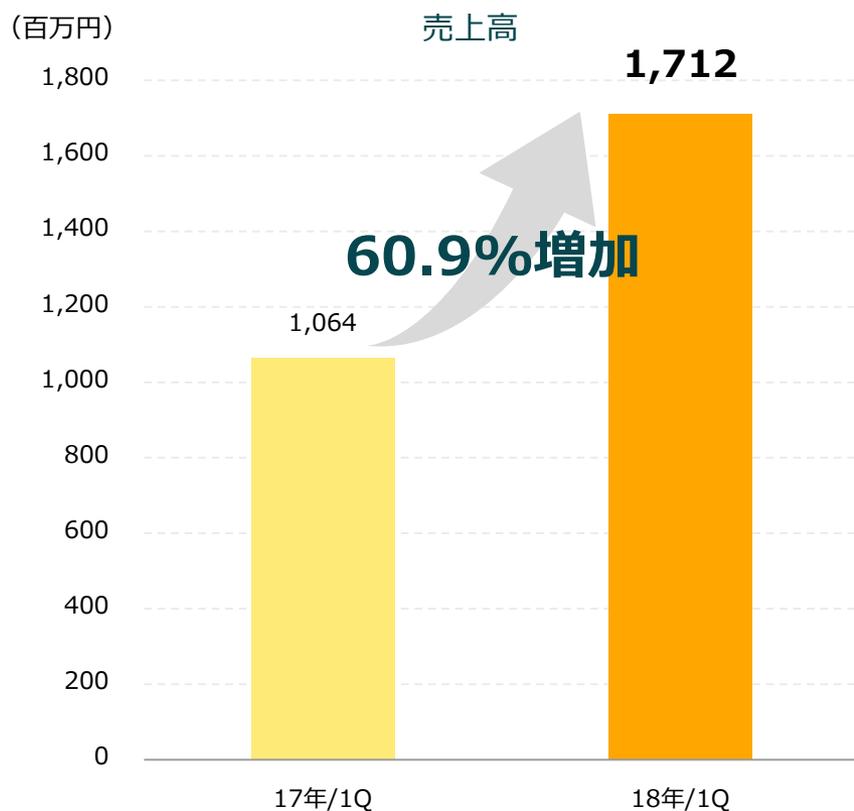
- 前年同期比60.9%増収・前四半期比21.4%増収と売上高は大幅に増収
- ポイントメディアで事業拡大のためにポイント投資を実施
- コンテンツメディア拡大のために広告宣伝費を投下し事業拡大
- コンテンツメディア強化のために「Oh!Ya」「持ち家計画」譲受
- 事業譲受及び本社移転に伴う一時的費用で約5,000万円程度計上
- 4月にコインチェック社株式をマネックスに譲渡（第2四半期計上）

業績ハイライト

第1四半期売上高は大幅に増収するも積極投資により営業利益は減益

★ポイントメディアにて競争戦略上ポイント投資を行う

★コンテンツメディア拡大のため積極的な広告投資を実施



ポイント・コンテンツメディア両事業が堅調に推移したことに加え投資育成事業にてコインチェック社株式の売却により業績の上方修正を発表

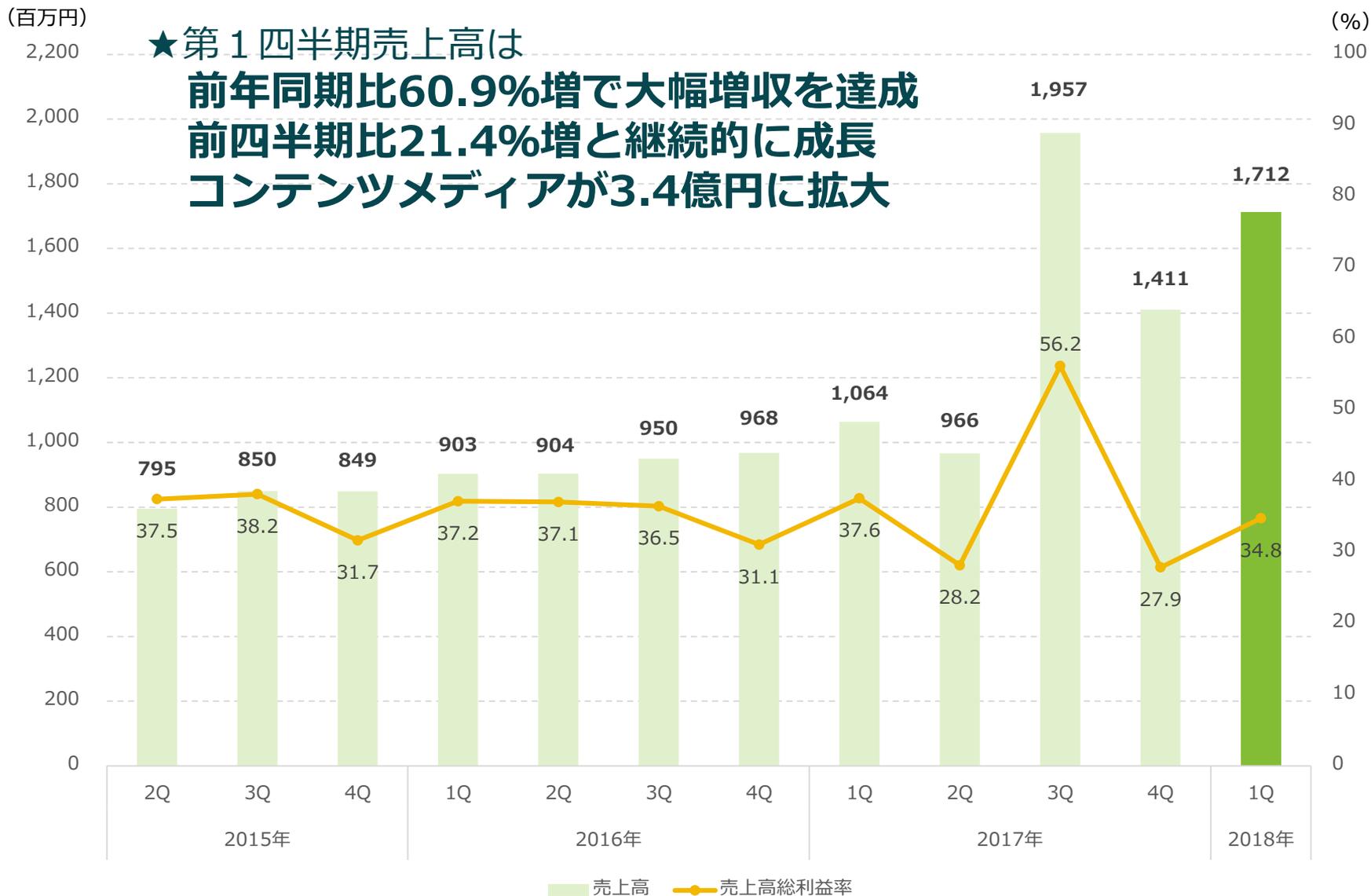
(単位：百万円)	2017年12月期 通期実績	2018年12月期 期初予想	2018年12月期 修正予想	増減額	増減率
売上高	5,400	7,100	7,600	500	7.0%
営業利益	955	480	1,000	520	108.3%
経常利益	960	470	990	520	110.6%
当期純利益	650	300	645	345	115.0%
1株当たり純利益（円）	62.65	27.57	59.29	—	—

損益計算書の概要（第1四半期）

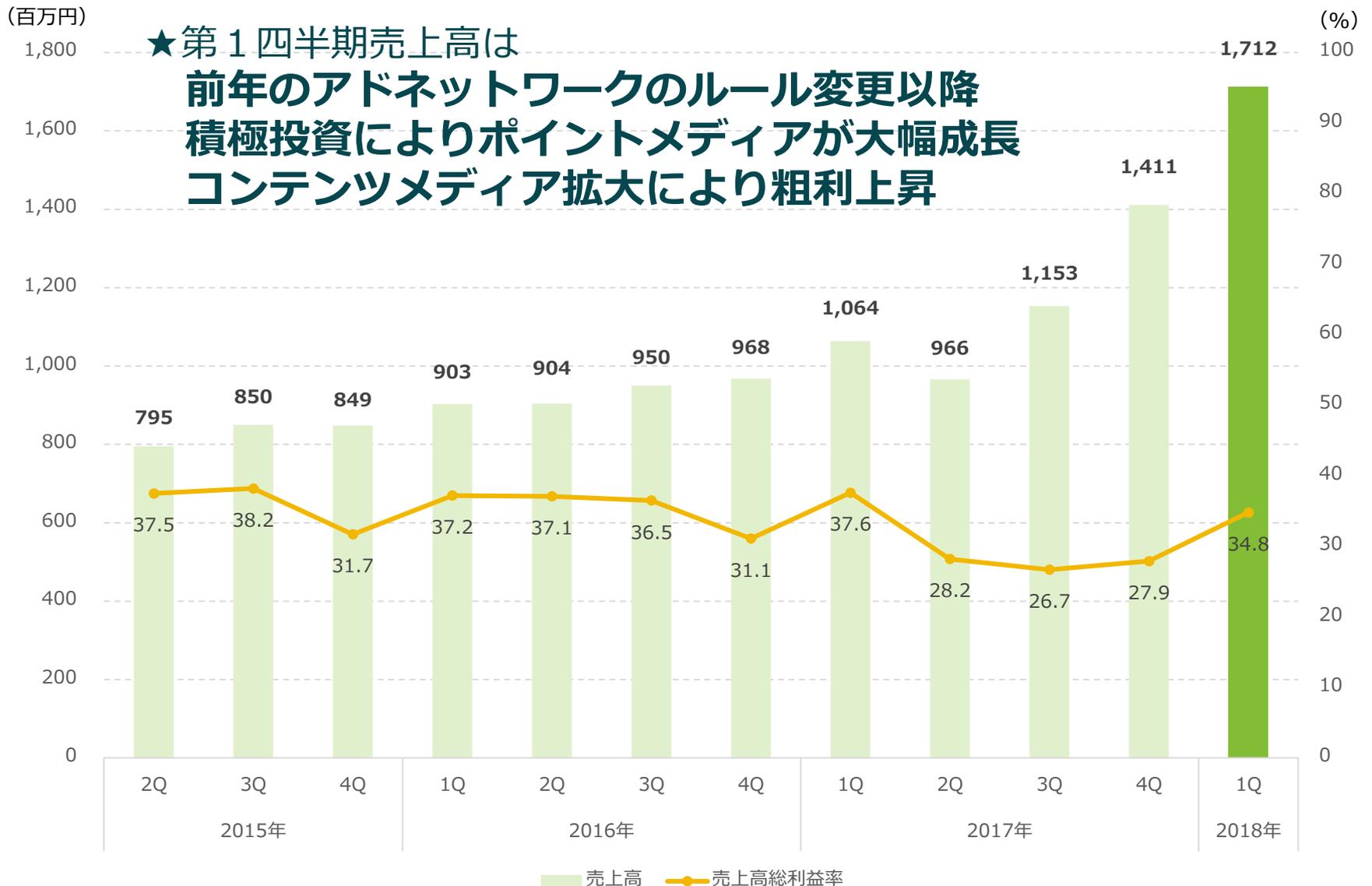
(単位：百万円)	2018年12月期1Q (2018年1-3月)	2017年12月期1Q (2017年1-3月)	前年同期比	2017年12月期4Q (2017年10-12月)	前四半期比
売上高	1,712 (100.0%)	1,064 (100.0%)	+60.9%	1,411 (100.0%)	+21.4%
売上総利益	596 (34.8%)	400 (37.6%)	+48.8%	394 (27.9%)	+51.2%
販売費及び 一般管理費	560 (32.7%)	230 (21.7%)	+142.6%	429 (30.4%)	+30.5%
営業利益	36 (2.1%)	169 (16.0%)	-78.8%	-34 (-%)	—
経常利益	30 (1.8%)	168 (15.8%)	-82.1%	-28 (-%)	—
四半期純利益	11 (0.7%)	109 (10.2%)	-89.4%	-19 (-%)	—
EBITDA	74 (4.4%)	192 (18.1%)	-61.3%	19 (1.4%)	+290.6%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

四半期売上高推移

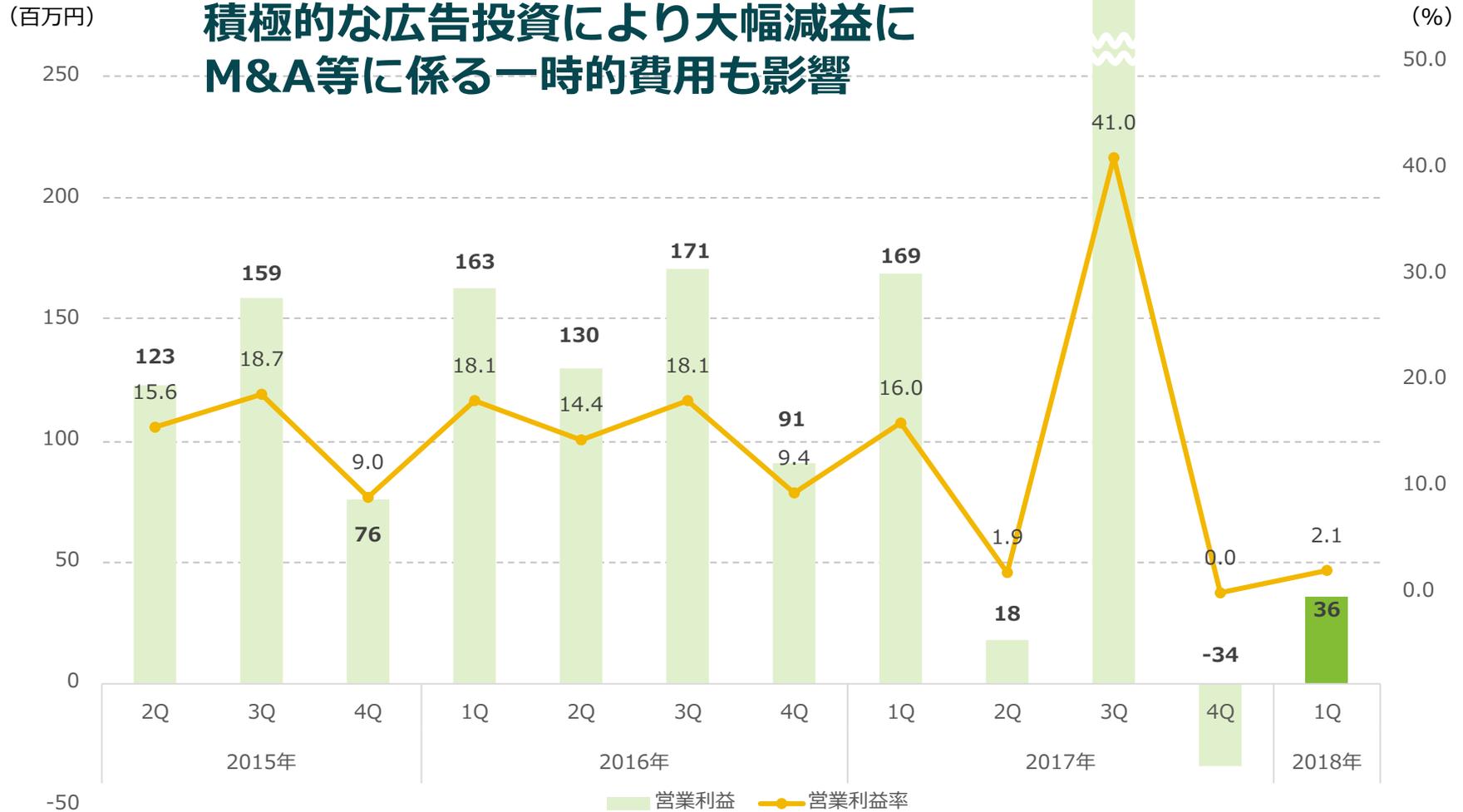


四半期売上高推移（有価証券売却分除く）

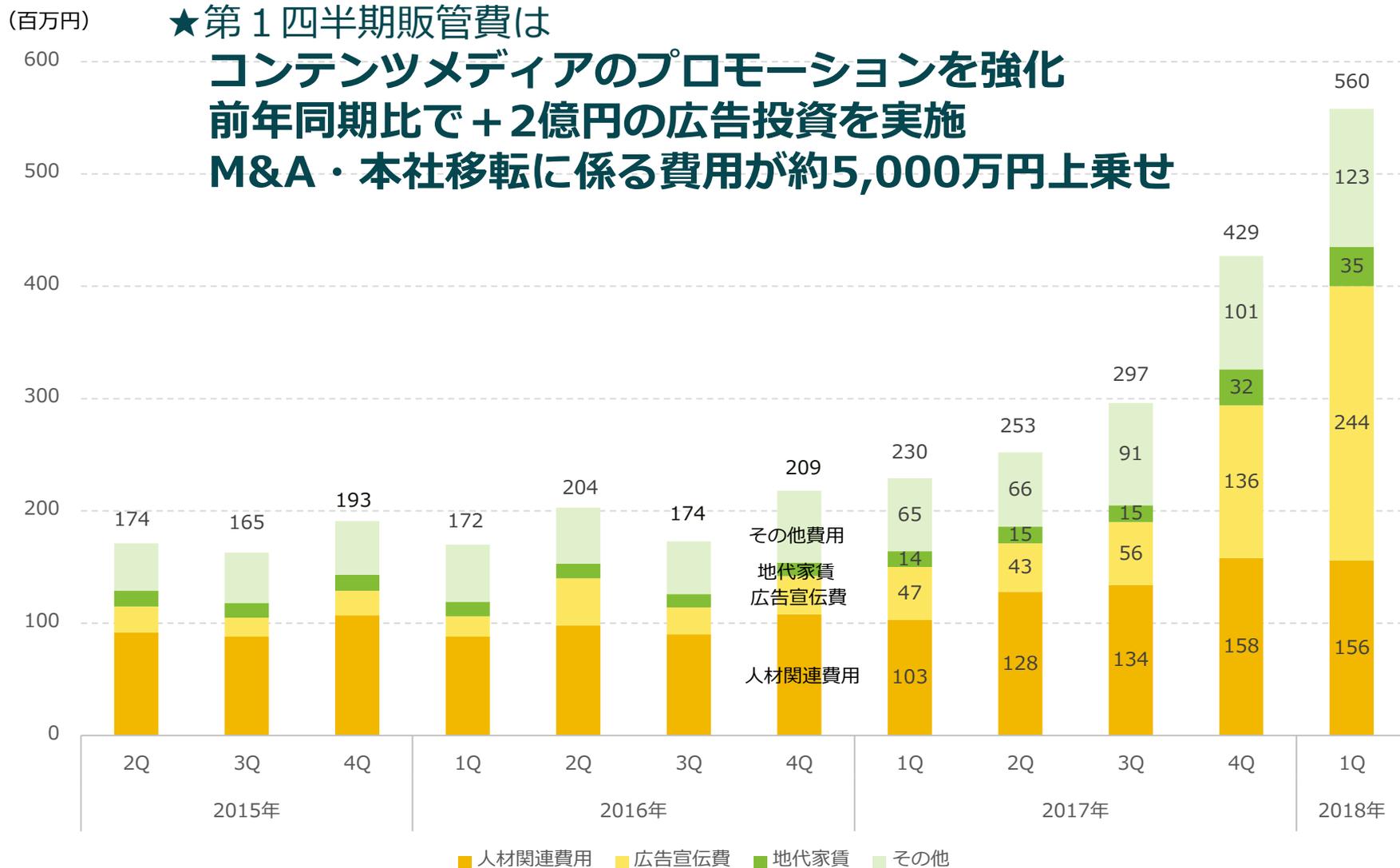


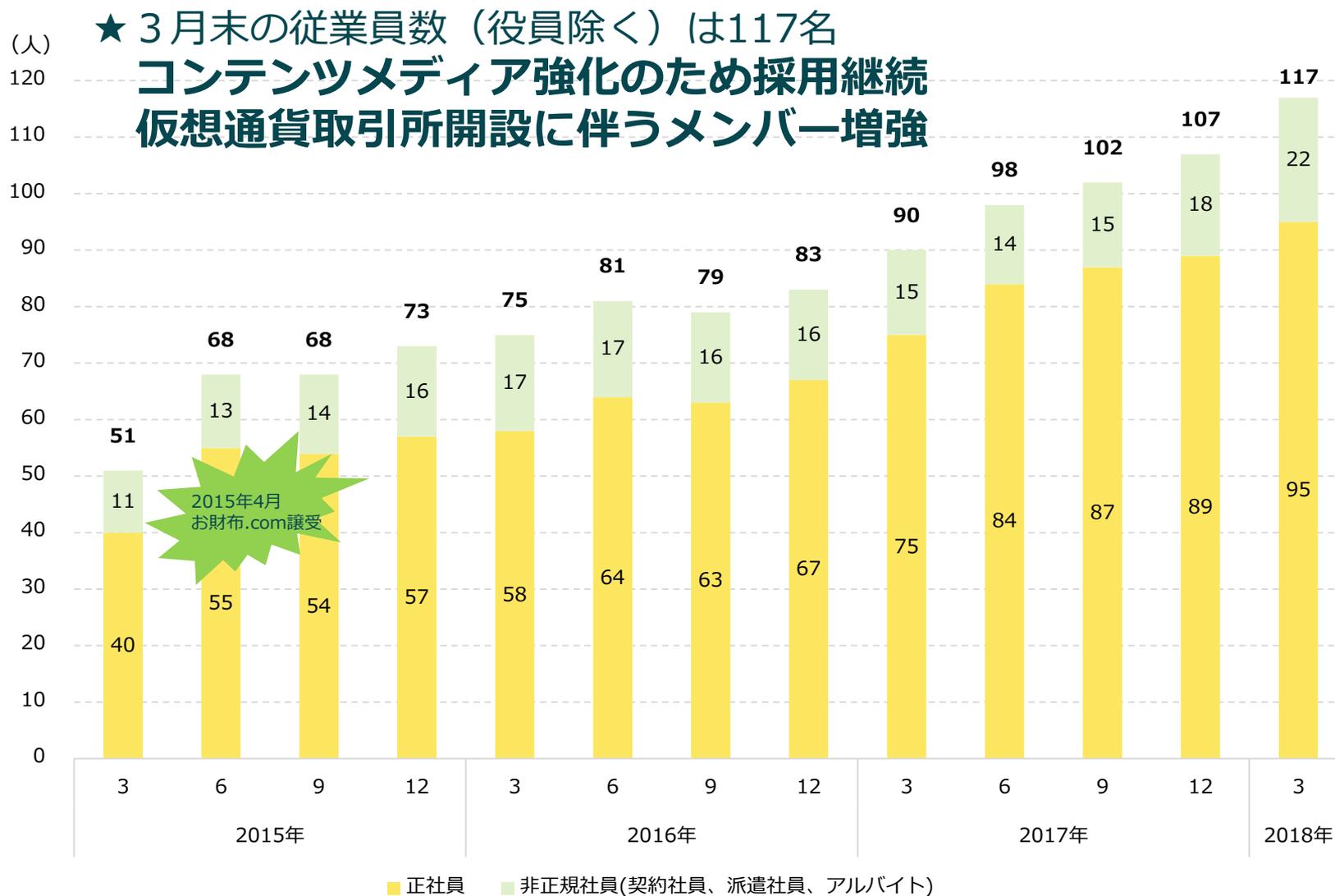
四半期営業利益推移

★第1四半期営業利益は
**ポイント投資とコンテンツメディアでの
 積極的な広告投資により大幅減益に
 M&A等に係る一時的費用も影響**



四半期販売費及び一般管理費推移





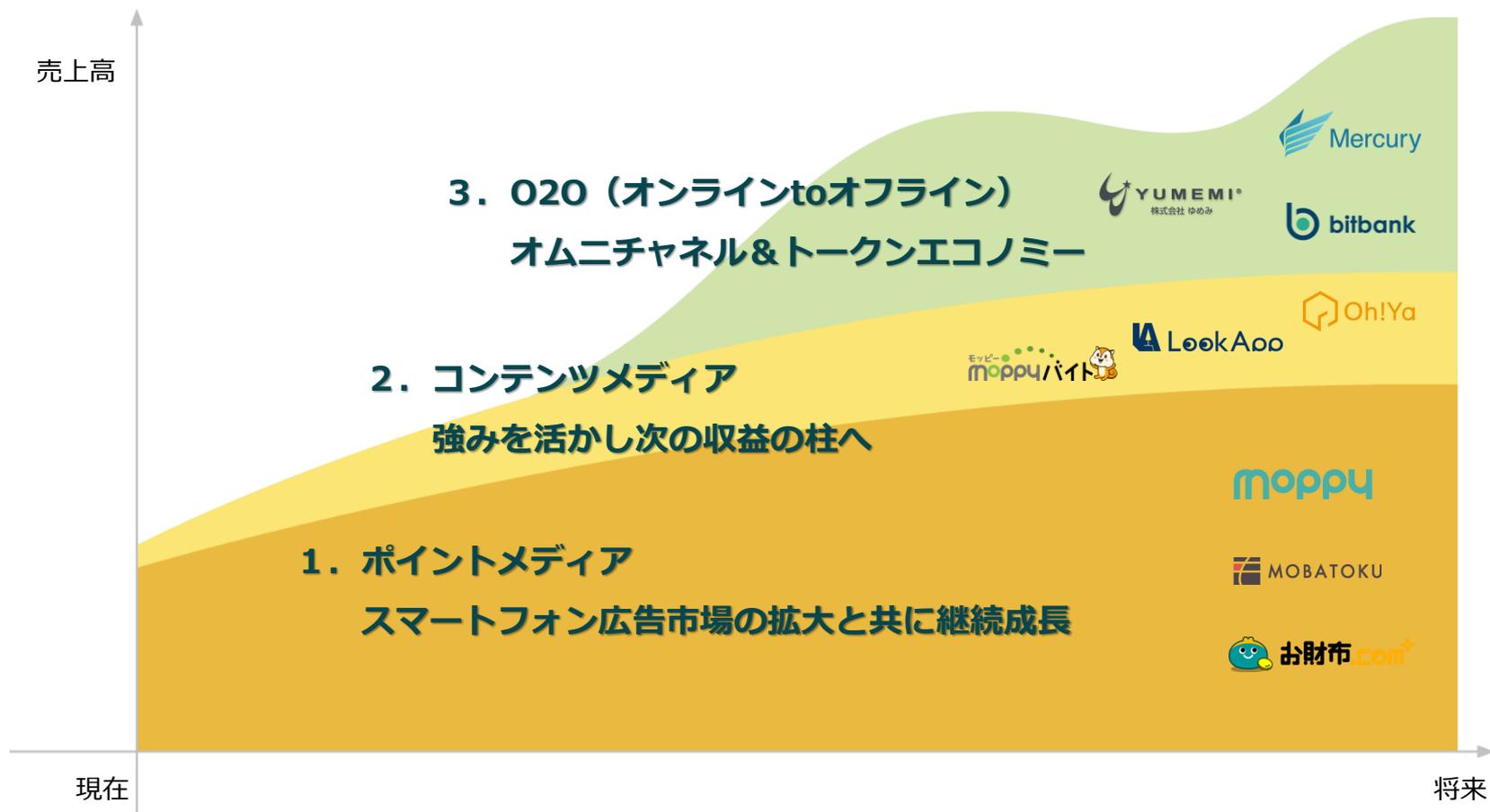
貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2018年12月期 第1四半期末	2017年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	4,768 (55.8%)	5,673 (71.0%)	-905	現金及び預金 -1,112 営業投資有価証券 +153	
固定資産	3,774 (44.2%)	2,317 (29.0%)	+1,457	のれん +1,026 繰延税金資産 +453	
資産合計	8,542 (100.0%)	7,991 (100.0%)	+551		
流動負債	1,807 (21.2%)	1,831 (22.9%)	-23	1年以内返済予定の長期借入金 +226 未払法人税 -264	
固定負債	1,268 (14.8%)	575 (7.2%)	+692	長期借入金 +689	
負債合計	3,075 (36.0%)	2,407 (30.1%)	+668		
純資産合計	5,466 (64.0%)	5,583 (69.9%)	-117	配当金 -130	
負債・純資産合計	8,542 (100.0%)	7,991 (100.0%)	+551		

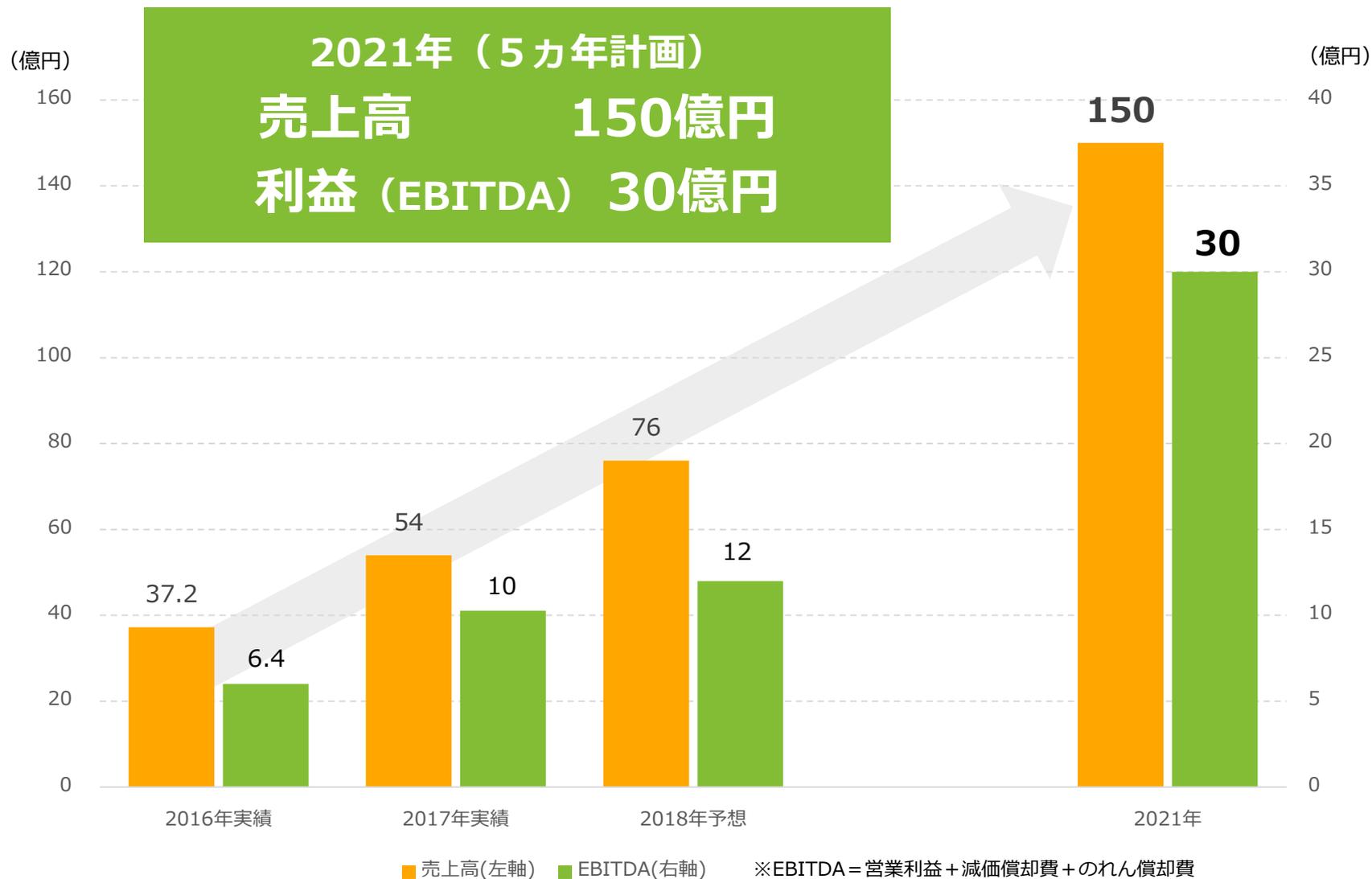


3. 事業概況と成長戦略

「ポイントメディア+a」へ投資を拡大し中長期成長を果たす



中期経営計画（5カ年計画）



2018年 第1四半期

- 1/29 ⑥ (株) マーキュリーが仮想通貨交換業者登録に係る申請書を金融庁へ提出
- 2/13 ④ モッピーとGポイント間にてポイント交換開始
- 2/28 ⑥ 仮想通貨取引所向けウォレットサービスのフレセット (株) と資本提携
- 3/1 ③ コンテンツメディア強化のため2社から事業譲受 (Oh!Ya、持ち家計画等)
- 3/8 ④ (株) ゆめみとAIによる広告配信最適化技術を共同開発 モッピーにて運用開始
- 3/14 ⑥ 仮想通貨ポートフォリオ管理の (株) LOGICAとの資本提携
- 3/26 ③ (株) ファンコミュニケーションズと成果報酬型広告で提携

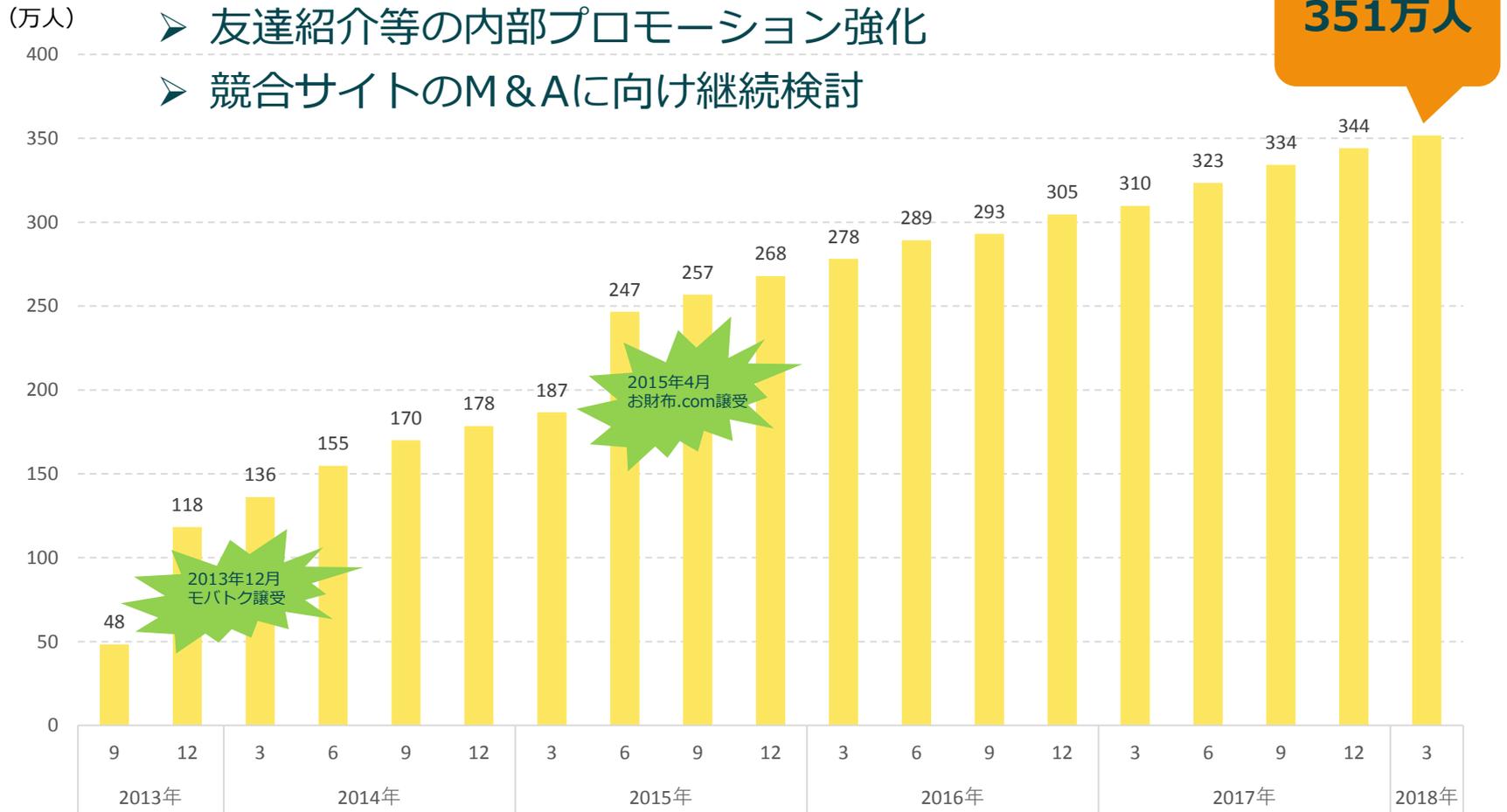
2018年 第2四半期

- 4/2 ④ オメガ (株) の広告配信技術を「mopyyキーボード」アプリに採用
- 4/16 ⑥ コインチェック (株) 株式をマネックスグループ (株) に売却
- 4/27 ⑥ (株) グッドラックスリーと共同でブロックチェーンゲームを開始

※ ④ : ポイントメディア、③ : コンテンツメディア、⑥ : フィナンシャルサービス

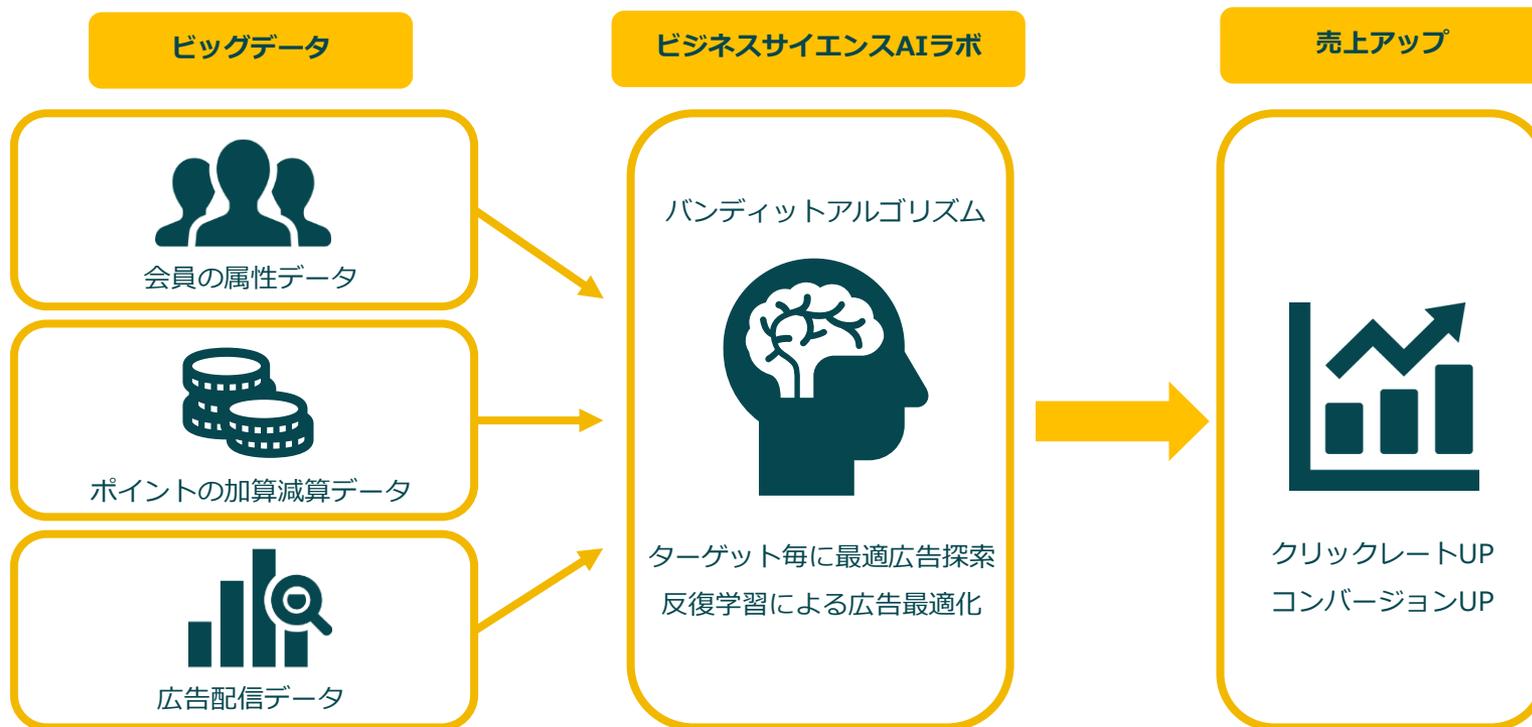
アクティブ会員数が350万人を突破

- 積極的なプロモーション戦略
- 友達紹介等の内部プロモーション強化
- 競合サイトのM&Aに向け継続検討

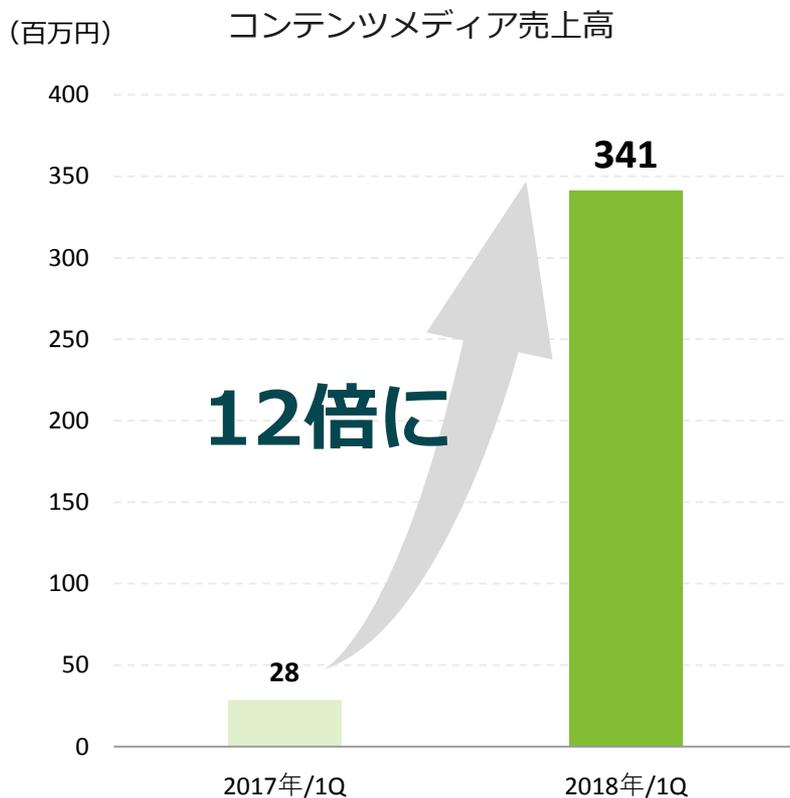


ゆめみ社と共同設立した「ビジネスサイエンスAIラボ」にて バンディットアルゴリズムを活用した広告配信最適化技術を運用開始

バンディットアルゴリズムとは、選択肢が複数ありどれが最適なものか判断がつきにくい際に、どの選択肢が選ばれていくかを繰り返し検証していく機械学習方法



前期に続き積極的に広告投資を行い四半期売上高は3億円超え
M&Aにより3月より新たにメディアを事業譲受し2Q以降も拡大



アルバイト求人サイト「モッピーバイト」

採用課金型アルバイト求人サイト
無料で広告掲載が可能で採用時に広告料発生
2018年春にサイトリニューアル



スマホゲーム比較サイト「LookApp」

スマホゲームをランキング形式で紹介
条件を指定してユーザーにマッチする
アプリが見つかる比較サイト



投資用不動産情報サイト「Oh!Ya」

投資マンションや不動産収益物件を
紹介する投資用不動産情報サイト
不動産投資初心者から利用可能



イッカツ社より「Oh!Ya」「持ち家計画」を事業譲受 不動産分野のアフィリエイトメディアを拡充し事業拡大へ

コンテンツメディア事業として不動産分野のアフィリエイトメディアである「Oh!Ya」「持ち家計画」を新たに買収、アフィリエイトメディア運営ノウハウを活かし投資を加速することで、両事業とも更なる成長が可能と判断。

事業譲受スキーム

- ・譲渡企業：株式会社イッカツ
- ・譲受日：2018年3月1日
- ・スキーム：事業譲受
- ・取得対価：8億9,000万円

事業譲受前の事業年度で税引き前利益ベースで約1億5,000万円程度の収益力をもつ不動産分野のアフィリエイトメディア。セレスの成長戦略に沿うコンテンツメディアとして強化可能と判断。

投資用不動産情報サイト「Oh!Ya」

投資マンションや不動産収益物件を紹介する投資用不動産情報サイト
不動産投資初心者から利用可能



注文住宅比較サイト「持ち家計画」

注文住宅を比較検討するにあたり
全国の工務店・ハウスメーカーへ
一括で資料請求可能なサイト

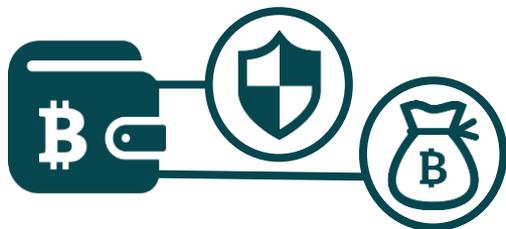


仮想通貨取引所向けウォレットサービス「フレセッツ」と 仮想通貨ポートフォリオ管理の「LOGICA」と資本提携

フレセッツ株式会社

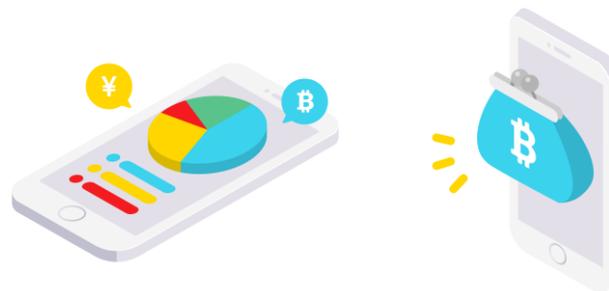
- ◆ 2016年に提携した東大ベンチャー「ジャノム」の日向氏が新たに立ち上げた仮想通貨・ブロックチェーンベンチャー企業
- ◆ 仮想通貨取引所における仮想通貨管理にあたり高いセキュリティが必須条件に。今後、金融機関が仮想通貨取引所事業に参入するにあたりセキュアなウォレットを開発し提供。

⇒ その後コインチェックによるNEM流出事件が発生



株式会社LOGICA

- ◆ 仮想通貨ポートフォリオ管理ツール「Coinboard」を提供するブロックチェーンベンチャー企業
- ◆ 「Coinboard」は仮想通貨の保有額や取引利益を一元管理できるサービス
- ◆ 世界の複数の仮想通貨取引所の利用状況を管理可能



2015年に投資し支援してきたコインチェック株式会社 事業継続のため約5億1,500万円でマネックスグループに譲渡

ビットコインの現物取扱高で世界最大規模の取引所であるコインチェックにて2018年1月にNEM流出事件が発生。金融庁からの2度にわたる業務改善命令が出る中で、事業継続のために経営責任・株主責任において株式売却を判断。

株式売却スキーム

- ◆ 売却年月日 : 2018年4月16日
- ◆ 売却株式 : 株式会社コインチェック
- ◆ 売却相手 : マネックスグループ株式会社
- ◆ 売却額 : 約515百万円
- ◆ 売却益 : 約476百万円
- ◆ 付加条項 : アーンアウト条項

投資実績

5,000万円 ⇒ **13億2,000万円 + アーンアウト**

アーンアウト条項

株式売却額に追加して、コインチェック社の2019年3月期から2021年3月期の各事業年度の税引後当期純利益相当額の50%分から、訴訟費用等を差し引いた金額が、売却時の持ち分比率に応じてセレスに支払われる条項。

(参考/コインチェック社の2018年3月期業績見込み)

純額売上高	626億円
営業利益	537億円
税引前利益	63億円

(マネックスグループ社IR資料より参照)

日本初のブロックチェーンゲーム「くりぷ豚（トン）」を グッドラックスリーと共同開発しスマホ向けに今月リリース（予）

ブロックチェーン関連事業を行うグッドラックスリーとブロックチェーンゲーム「くりぷ豚」を共同開発、ブロックチェーンを活用した「Dapps（※）」としてのゲームの本格的事業化は日本初（当社調べ）

※「Decentralized Applications」の略称で、分散型アプリケーションと訳され、中央集権体制に依存しないで機能するアプリケーションを指す

ブロックチェーンゲーム「くりぷ豚」

- ◆ゲーム概要：豚のキャラクター「くりぷ豚（トン）」をコレクションし、交配させ新種を誕生させたり、ユーザー間での売買を行う。くりぷ豚の売買には仮想通貨イーサリアムを使用。
- ◆スマートフォン向け（アプリ及びウェブ）のサービスを2018年春に提供予定



フィナンシャルサービスとして仮想通貨関連事業と共に
投資育成事業として仮想通貨・ブロックチェーン分野に投資拡大

仮想通貨バリューチェーン

マイニング



(2017年設立)



取引所



(100%子会社) (関連会社)



(アーンアウト付) (2015年提携)

ウォレット



(2016年出資)



(2017年出資)

資産管理



LOGICA

(2018年出資)

送金



(2016年開始) (2017年開始)

ブロックチェーン・アプリケーション



orb

(2015年出資)



sivira

(2017年出資)



(2017年出資)



(2018年開始予定)



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。